

Contents

Topics! 吉岡史生先輩 監督に就任

1. 世界ジュニア代表選手抱負
2. 新入部員紹介
3. 新入部員歓迎会を開催
4. 窪田登先生を偲ぶ会模様
5. リレー寄稿 あの先輩はいま
6. 東日本大学対抗戦のご案内
7. 競技会成績
8. 全日本学生個人戦 男女4階級で優勝
9. 全日本選手権大会結果
10. 予餞会・女子インカレ優勝祝勝会
11. 4年生との意見交換会を開催
12. 平成29年度総会報告
13. 寄付者ご芳名
14. 夏合宿のお知らせ



<新入部員集合写真>

Topics!

吉岡史生先輩 監督に就任

4月から部の指導体制が変わり、吉岡史生先輩(H13卒・前コーチ)が監督に就任しました。吉岡新監督からメッセージをいただきましたのでご紹介します。

平成13年卒の吉岡史生です。このたび早稲田大学ウエイトリフティング部の監督に就任いたしました。監督就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

「早稲田大学の名に誇りと使命感を持つこと」これが我々早稲田スポーツを担う者にとって永遠の課題です。早稲田大学は創設者である大隈重信の時代から近年の「早稲田アスリートプログラム」の開始に至るまで一貫して高いレベルでの文武両道を学生に求めております。それは至極当然のことであり、社会に通用するアスリートには欠くことのできない要素となっています。

選手たちには人生の中で短いけれども一番密度の濃い4年間になると思います。監督として彼らが社会に出ていくまでの橋渡しに一役買いたいと思います。

競技力についてはあくまでも「結果」を求めたいと思います。異論は種々あると思いますがこの社会は「結果」を残さなければ意味がありません。その「結果」にたどり着く過程において本気で取り組むことこそが人生を決定づける種々のファクターになり得るからです。

活動の主体は学生ですが、OB・OGや保護者など早稲田大学ウエイトリフティング部に関わる全ての方々の誇りとなるよう日々邁進していく覚悟ですので、諸先輩におかれましてはどうぞより一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



世界ジュニア代表選手抱負

7月4日～14日までウズベキスタンで世界ジュニア選手権大会が開催されます。早稲田から日本代表として出場する3名に大会に向けた抱負を寄せてもらいましたのでご紹介します。



◆木村勇喜（スポーツ科学部2年）

今回ウズベキスタンで行われる世界ジュニア選手権大会に62kg級で出場させていただくことになりました木村勇喜です。

私は昨年も世界ジュニア選手権大会に出場させていただいたのですが、昨年は大会直前に首を痛め、まともに練習が出来ない状態で大会当日を迎えました。スタート重量を大きく下げても計3本のみ成功で予選会の記録を大きく下回る結果となりました。

このような辛い経験をはじめ昨年は一年を通して怪我続きの年でしたが、また今年も同じ世界ジュニア選手権というチャンスを与えていただいたので、記録的には世界のレベルには程遠いですが、昨年の悔しい気持ちも含め、今年は怪我なく自分自身が試合後にやりきったと思える試合をするために、残り約一ヶ月の練習に取り組みたいと思います。どうぞ応援よろしくをお願いします。

◆鈴木梨羅（スポーツ科学部2年）

このたび世界ジュニア選手権大会に出場させていただくことになりました48kg級の鈴木梨羅です。

今大会に向けての抱負は、まず、昨年は出場することができずに悔しい思いをしたので、出場が最初で最後となる今大会は、後悔のない楽しい試合にしたいと考えています。

今回はウズベキスタンでの開催ということで、会場の雰囲気、シャフトやディスクなどの器具が国内での試合とは異なり不安な要素もありますが、早稲田から3人一緒に出場できることはとても心強いので、自信と誇りをもって試合に臨みたいと考えています。

また、安定感のある成功率の高い試合を意識し、C&J競技では3位に入賞してメダルを獲得することを目標に、いつも応援してくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに、何かを得て帰国できるよう精一杯頑張りますので、応援のほどよろしく願いいたします。



◆戸田妃乃子（スポーツ科学部2年）

私は7月にウズベキスタンで開催される世界ジュニア大会に69kg級で出場します。

世界ジュニアでの目標はトータル200kgを挙げることです。国内の試合でもずっと目標にしているのですがいまだに達成できていません。加えて、私は国際大会ではどうもシャフトとの相性がすこぶる悪く、これまでの試合では選考時の記録にも届いていません。

おまけに先日の全日本選手権で右肩を痛めてしまい、今のところ納得のいく練習はできていませんが、少しずつ痛みは軽減しているので徐々に扱う重量を上げながら調整していきたいと思います。

国際大会の調整といえば、昨年ユニバーシアード大会前に岡田部長による中国製シャフトでの地獄のジャーク練習がありました。今回ヨーロッパ製のシャフトなのでまたあの練習をするのかと思うと恐ろしいですが、しごきを乗り越えられたならトータル200kg簡単にいけることでしょう！初の世界ジュニアを私らしく楽しんで試合してきます。応援よろしくをお願いします。

新入部員紹介 1/4

今年度は男子6名・女子6名の計12名の新入部員を迎えました。将来活躍が期待される新人たちに以下の質問を投げかけてみました。プロフィールと合わせてご覧ください。

- ①なぜ早稲田でウエイトリフティングをやろうと思った？
②試合で注目してほしいところは？ ③早稲田に来て驚いたことは？ ④今後の目標は？



上野 大瑚
(うえの だいご)

学部：スポーツ科学部

出身高校：兵庫県立明石南高等学校

階級：56kg級 ベスト：S:93kg/C&J:115kg

- ①高校時代にお世話になった先輩たちが早稲田に在学中またはOBにいたからです。自分も早稲田で強くなりたいと思いました。
②ジャークです！高校時代には逆転ジャークを何回も決めました。でも今の僕のレベルは逆転すらできないので、まずは記録を伸ばして、それから皆さんに見てもらいたいと思っています！
③上下関係はあるけれど、先輩と後輩がとても仲が良く、練習もワイワイとしているところが驚きました。厳しい面もありますが実はもっと厳しいのではと想像していたので、今は楽しいです。
④4年間勉強し教職課程を履修して教員免許を取得することです。競技では1年のうちにインカレのメンバー入りを果たす。そして

卒業するまでに絶対何れかの大会で個人優勝を果たし国際大会を目指します！そして団体も！もちろん目指すのはインカレ個人・団体とも1位です。4年間よろしくお願ひします。



生頼 啓暉
(おうらい ひろき)

学部：スポーツ科学部

出身高校：兵庫県立明石南高等学校

階級：69kg級 ベスト：S:106kg/C&J:136kg

- ①恵まれた環境・設備の中で競技に取り組みたいと思ったからです。
②C&ジャークです。自分のスナッチは見応えがないと思うので、ジャークだけでも頑張ろうと思います。
③キャンパス間の移動がしんどいこと、高校時代よりも長い時間練習できることです。
④77kg級で国際大会に出場すること、部を引っ張っていける人間になることです。



岡村 幸尚
(おかむら ゆきひさ)

学部：社会科学部

出身高校：兵庫県立明石南高等学校

階級：94kg級 ベスト：S:122kg/C&J:155kg

- ①早稲田大学には知っている強い先輩方が多く在学しており、ここでなら4年間頑張れると考えたからです。
②成功率です。ぼくは高校時代は成功率が悪かったです。だから大学では一試技ずつ丁寧に行っていきたくて考えています。
③部内にトレーナーがいることです。普段の練習から身体のケアやサポートを行ってもらえることに驚きました。
④インカレで表彰台に立ってチームに貢献することです。4年間悔いの残らないように頑張ります。

新入部員紹介 2/4



西野 渓心
(にしの けいしん)

学部：スポーツ科学部

出身高校：京都府立海洋高等学校

階級：69kg級 ベスト：S:115kg/C&J:126kg

- ①高校時代に早稲田で練習をさせていただいた時に、先輩方が見ず知らずの私に丁寧にアドバイスをしてくださり、私もこの環境の元で先輩方のようになりたいと感じたからです。
- ②スナッチです。自分の得意な種目なのですが、高校の試合では思うような記録を残せなかったため、大学の試合ではスナッチでベスト以上を挙げます。
- ③とにかくキャンパスが広いこと。
- ④私はジャークが弱く、高校時代は逆転を許す試合もあったので、スナッチを伸ばしつつジャークで今より30kg以上は挙げられる

よう強化します。また高校時代にはケガのため試合で思うような結果が出せなかったため、大学ではしっかりと身体のケアをして良い結果を残せるようにします。最終的には「インカレ優勝」を目指して日々の練習を無駄にせず頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。



森田 恭平
(もりた きょうへい)

学部：社会科学部

出身高校：熊本県立熊本西高等学校

階級：105kg級 ベスト：S:110kg/C&J:135kg

- ①勉強とスポーツの両方を高い水準で学ぶことができることに魅力を感じ、大好きなウエイトリフティングの競技力向上に必要な知識や技術を、他人に頼るだけでなく自分で身につけ、応用することができると思ったからです。
- ②クリーン&ジャークです。どんなにバランスが崩れても粘って立ち上がり、成功させる自信があります。
- ③早大生のメリハリの良さです。遊ぶときは遊ぶ、学ぶときは学ぶという当たり前のことを、早大生全員が当たり前のようになっている様子を見ると、やはり早稲田大学は一味違うなと思います。
- ④スナッチ130kg・ジャーク160kgを目標に、早稲田大学ウエイトリフティング部の一員として邁進していきます。



ルーク・モファット

学部：国際教養学部

階級：94kg級 ベスト：S:55kg/C&J:75kg

- ①ウエイトリフティングを始めた理由は、以前から興味があったからです。早稲田大学ウエイトリフティング部の皆さんがとても強く、また高度なテクニックを習得することができるので、私も皆さんとウエイトリフティングをしたいと思いました。
- ③早稲田に来て驚いたことはたくさんあります。日本人は静かでおとなしく、上品だけど話しづらいという印象でした。しかし、早稲田の学生はすごくフレンドリーで活発です！話しやすく毎日楽しいです。
- ④私は前期が終わるとイギリスへ帰ります。それまで頑張りますのでよろしくお願ひします。

新入部員紹介 3/4



奥村 紀香
(おくむら のりか)

学部：スポーツ科学部

出身高校：埼玉栄高等学校

階級：48kg級 ベスト：S:68kg/C&J:79kg

- ①インカレ優勝の実力を持つレベルの高い大学に身を置くことで自分の競技力向上に繋がると思ったからです。また、高校時代からの憧れの先輩がいたので早稲田にしよう決めました。
- ②スナッチとクリーンの立ちです。脚が弱いので強化して試合ごとに軽くなる立ちを見てもらいたいです。
- ③所沢キャンパスまでが思ったより遠いことです。部活ではみんな仲が良いところ、練習中声が大きく活気付いているところです。
- ④4年間で記録をトータル30kg伸ばすことです。また、脚が弱いのでスクワットの練習を人一倍頑張っていきたいです。そして国際大会に出場できるように努力していきます。



後藤 虹海
(ごとう こうみ)

学部：社会科学部

出身校：京都府立海洋高等学校

階級：63kg級 ベスト：S:71kg/C&J:90kg

- ①高校2年生の冬に一度させていただいた合同練習で、練習や部の雰囲気がとても好きになったからです。また、早稲田のウエイトリフティング部は、個人だけでなく団体でも優勝を目指しているので、私も高校時代にはできなかった団体優勝を目指したいと思ったことも理由の一つです。
- ②キャッチの落差です。他の選手とは比べものにならないくらい落差があるので、ぜひ一度見てほしいと思います。
- ③どの場所も設備が良いことです。学内はもちろん、ウエイトリフティング場も高校のとき以上に設備が豊富でとても充実していると思いました。
- ④大学卒業までに一度でも国際大会に出場できるよう努力します。



小堀 美穂
(こぼり みほ)

学部：社会科学部

出身高校：作新学院高等学校

階級：58kg級 ベスト：S:49kg/C&J:62kg

- ①私は高校までパワーリフティングをしていました。でもずっとウエイトリフティングにも興味があり機会があればやってみたいと思っていました。女子が多く、強い選手が多くいる、そんな環境でたくさんの方の事を学びながらウエイトリフティングをしてみたいと思ったので、早稲田でウエイトリフティングを始めることに決めました。
- ②成長です。試合に出るたびに色々なことに慣れてくると思うのでひとつひとつ大会を重ねるにつれて成長していきたいです。
- ③教場がとても広いこととみんなが仲良しで優しいところです。
- ④まず大会に出場して良い結果を出すことなので、そのために毎日の練習を頑張っていきます。

新入部員紹介 4/4



佐熊 汐梨
(さくま しおり)

学部：社会科学部

出身校：岩手県立水沢高等学校

階級：90kg級 ベスト：S:72kg/C&J:92kg

- ①同じ岩手県出身である城内史子さんから部の雰囲気などを聞き、ウエイトリフティングに集中することができる環境だと思い、早稲田大学で競技を続けてみようと思いました。
- ②キャッチの高さです。特にスナッチの一本目は、練習ではローになります。試合だとミドルになります。
- ③設備が整っているところと、先輩方が仲がよく、練習ではとても活気があるところなど、高校との練習環境の違いに驚きました。高校でやらなかったメニューなども多くあり、はじめは戸惑っていました。
- ④1年生のうちにC&ジャークのベストを100kgにすることです。もうひとつは、1度でも国際大会に出られるように努力していくことです。



西村 深聡
(にしむら みさと)

学部：スポーツ科学部

出身高校：京都府立鳥羽高等学校

階級：63kg級 ベスト：S:76kg/C&J:100kg

- ①初めて早稲田大学に練習をしに行ったときに練習中の雰囲気がすごく良かったので、ここでなら頑張って4年間続けられそうだなと思ったからです。
- ②最初の挨拶をできるだけ大きい声で叫んで気合を入れているのでそこに注目してほしいです。
- ③日本代表などハイレベルな実績を持つアスリートがいたり、英語がペラペラな学生がいるところです。部活動では、みんな家族のように仲が良いことに驚きました。
- ④しっかり日々の練習を積み重ねて、国際大会に出場できるような選手になること、卒業するまでにトータル200kgを挙げることができるようにこの4年間頑張ります。よろしくお願ひします。



山口 千尋
(やまぐち ちひろ)

学部：スポーツ科学部

出身校：茨城県立石岡第一高等学校

階級：53kg級 ベスト：S:73kg/C&J:90kg

- ①目標にしている安嶋千晶さんがいるということもありますし、他の大学よりも自由な雰囲気練習をしているところに惹かれたからです。
- ②どの試合も「笑顔で楽しむ」という目標を持って臨んでいるので笑顔に注目していただきたいです。
- ③思っていた以上に自由な雰囲気と整った環境に驚きました。また、監督・コーチ・学生トレーナーのサポートも充実しており、部の先輩方も優しくしてくれ、気さくに話しかけてくださります。
- ④ウエイトリフティングも勉強も楽しんで取り組んでいくことを目標にしています。競技面では今年中にトータルを170kgにすることと、チームに貢献できる選手になることです。勉強面では、筋肉や身体の使い方などを学び競技に還元していきます。

新入部員歓迎会を開催

5月12日、早稲田キャンパス11号館にて新入部員歓迎会が開催されました。

新入部員12名の紹介、岡田部長挨拶のあと志田会長による歓迎の言葉と発声で乾杯。OB・OG出席者17名を紹介して歓談に移りました。後半は吉岡監督の挨拶で始まり、世界ジュニア選手権代表3名への遠征補助・激励贈呈を挟んで、新入部員一人ひとりが将来に向けての抱負を語りました。盛会は神田主将・秋葉裕一先輩(S46卒)からの激励の言葉に続いて、出席者全員で早稲田アスリート宣言唱和、校歌斉唱で中締めとなりました。

また、このたび林平八郎先輩(S31卒)から1964東京オリンピック関連の貴重な資料をご提供いただきました。新入部員歓迎会の会場内に展示コーナーを設け、部員と出席OB・OGで閲覧し、当時のウエイトリフティング競技や大会運営、報道の様子を想像し、2020東京オリンピックに向けての思いを新たにしました。同資料は秋の早慶定期戦後の懇親会でも展示予定です。



窪田登先生を偲ぶ会模様

4月22日、銀座・吉祥にて窪田登先生を偲ぶ会が執り行われました。

昭和30年代～40年代卒を中心に20名のOBが集まり、窪田先生との思い出や当時の様子など懐かしく振り返りながら会食し、和やかなお別れの会となりました。

なお、偲ぶ会に古川雍夫先輩(S35卒・当日ご欠席)から寄せられた貴重な写真をここにご紹介します。1959年(昭和34年)新居浜遠征時の集合写真で、当時の部員と関根吉郎部長・大沼賢治監督・窪田登先生の姿を確認することができます。



今回は5月の新入部員歓迎会に参加して下さった昭和45年卒・上野稔先輩に筆を執っていただきました。

近頃思う事

大型連休明けにウエイトリフティング部の新入部員歓迎会に参加させて頂いた。新入生は男子6名、女子6名で高校時代には国際大会や国内の主要な大会で実績を重ねた精鋭達だ。また、パワーリフティングから重量挙げに転向した女性や、留学中の英国男子学生と多士済々。早稲田の女子は昨年度インカレのチャンピオンであるし、男子も今年のインカレでは3位以上を目指すとの主将の決意表明も心地よく胸に響いた。5月に金沢で開催された全日本選手権では、現役・OB・OGを含め19名が出場して成果を上げてくれた。何とも嬉しい後輩諸氏の活躍であろうか。同期10名全員がリフティング未経験者であった我々昭和45年卒の世代には正に隔世の感がある。これは半世紀に亘る、歴代の部長先生や監督、コーチの皆様の並々ならぬ努力であり、選手達の頑張りの賜物であろう。そして関根吉郎先生の口癖であった(男子)インカレ優勝、加えて男女同時優勝の日が夢ではないと実感出来た楽しい歓迎会であった。

巷間、レスリング界やアメリカンフットボールにおける「パワハラ」の問題、米国体操五輪チームドクターによる「セクハラ」問題と騒々しい。当然ながら「パワハラ」も「セクハラ」も許されてはならない。法律の問題としてばかりだけでなく人間としての問題だ。自身振り返るとありがたい事に高校時代の野球部、早稲田のウエリフにおいて「いじめ」も「パワハラ」もない生活を送ることができた。これは良き指導者と良き先輩に恵まれたからだと感謝している。社会に出てからは今の基準で判断すればパワハラと思われる事態を何度か経験している。社会でお金を稼ぐという事は本当に大変な作業だ。複雑化した社会に出れば、様々な状況に遭遇する。その時こそ早稲田に学び、ウエイトリフティング部に籍を置いた「人」として、強い心を持ち立派に対応して頂ける事を期待する。



第28回バーベル会にて 右手前が本人

閑話休題。前出の新入部員歓迎会で私は女性部員に「普段(体重)は何キロ？」と質問した。彼女は「〇〇キロなので、減量なしです」と答えてくれました。怖ろしや・・・もし会社で女性社員に同じ質問をしていたら、私は懲罰を受け、退社の憂き目に遭っている。何事も、時と場合を考えて行動しましょう。気持ちを引き締めないと。勉強と反省が出来た良い一日でした。

上野稔 (S45卒)

東日本大学対抗戦のご案内

今年度の東日本大学対抗選手権大会が以下のとおり開催されます。今年前半の集大成となる試合です。首都圏在住の皆さまには、ぜひご来場ご観戦くださいますようお願い申し上げます。

期 日： 6月30日（土）～7月1日（日）
会 場： 埼玉県 スポーツ総合センター（上尾市東町3-1679）
アクセス： JR高崎線「上尾駅」東口 徒歩25分／タクシー10分

| 日程 | 階級 | 選手名 | 補欠 |
|-------------|--------------|--------------------------------------|------------------|
| 6/30 (土) | 10:40 M56kg | 知念勇斗 (スポーツ科学部4年) | 上野大瑚 (スポーツ科学部1年) |
| | 13:20 M69kg | 木村勇喜 (スポーツ科学部2年) 生頼啓暉 (スポーツ科学部1年) | 大原魁斗 (社会科学部4年) |
| | 15:10 M77kg | 永迫竜矢 (スポーツ科学部4年) 知念勇樹 (スポーツ科学部2年) | 橋本拓実 (社会科学部2年) |
| | 17:15 M85kg | 田中裕也 (スポーツ科学部3年) | |
| 7/1 (日) | 10:40 M94kg | 岡村幸尚 (社会科学部1年) | 神田悠斗 (社会科学部4年) |
| | 12:10 M105kg | 池田祐介 (社会科学部4年) | 森田恭平 (教育学部1年) |

競技会成績

第38回全日本ジュニアウエイトリフティング選手権大会

日時: 3月8日～3月10日 場所: 上尾市 スポーツ総合センター

| 階級 | 選手名 | 学部 学年 | BEST | | | | TOTAL | |
|--------|-------|----------|------|----|-----|----|-------|----|
| | | | S | 順位 | J | 順位 | 記録 | 順位 |
| M62kg級 | 木村勇喜 | スポ科1 | 113 | 1 | 137 | 2 | 250 | 1 |
| M69kg級 | 知念勇樹 | スポ科1 | 116 | 2 | 155 | 1 | 271 | 2 |
| | 生頼啓暉 | 明石南高校3年 | 105 | 7 | 135 | 8 | 240 | 8 |
| M94kg級 | 岡村幸尚 | 明石南高校3年 | 115 | 7 | 151 | 6 | 266 | 6 |
| W48kg級 | 鈴木梨羅 | スポ科1 | 68 | 1 | 92 | 1 | 160 | 1 |
| W53kg級 | 山口千尋 | 石岡第一高校3年 | 67 | 6 | 80 | 7 | 147 | 7 |
| | 奥村紀香 | 埼玉栄高校3年 | 0 | - | 79 | 8 | - | - |
| W63kg級 | 西村深聡 | 鳥羽高校3年 | 76 | 4 | 98 | 4 | 174 | 3 |
| | 後藤虹海 | 海洋高校3年 | 70 | 9 | 88 | 8 | 158 | 9 |
| W69kg級 | 戸田妃乃子 | スポ科1 | 85 | 3 | 112 | 2 | 197 | 2 |
| W75kg級 | 前田早菜 | 社学1 | 70 | 10 | 91 | 8 | 161 | 8 |
| W90kg級 | 佐熊汐梨 | 水沢高校3年 | 71 | 2 | 89 | 2 | 160 | 2 |

第14回全日本学生ウエイトリフティング選抜大会

日時: 3月10日～3月11日 場所: 上尾市 スポーツ総合センター

| 階級 | 選手名 | 学部 学年 | BEST | | | | TOTAL | |
|---------|------|----------|------|----|-----|----|-------|----|
| | | | S | 順位 | J | 順位 | 記録 | 順位 |
| M56kg級 | 知念勇斗 | スポ科3 | 99 | 1 | 131 | 1 | 230 | 1 |
| M77kg級 | 生頼永人 | スポ科4 | 125 | 5 | 160 | 5 | 285 | 5 |
| M105kg級 | 池田祐介 | 社学3 | 130 | 4 | 164 | 3 | 294 | 4 |
| W53kg級 | 安嶋千晶 | スポ科3 | 70 | 1 | 96 | 1 | 166 | 1 |
| W75kg級 | 柏木麻希 | スポ科3 | 93 | 1 | 113 | 2 | 206 | 1 |
| W90kg級 | 田中季恵 | スポ科3 | 79 | 2 | 100 | 2 | 179 | 2 |

全日本学生個人戦 男女4階級で優勝

4月27日～29日、大阪府で開催された全日本学生個人戦において、男子は69kg級で知念勇樹選手が優勝。女子は53kg級で安嶋千晶選手、69kg級で戸田妃乃子選手、75kg級で柏木麻希選手が昨年に続き連覇を果たしました。柏木選手においては、スナッチ・C&ジャーク・トータル全ての大会記録を塗り替える活躍で今大会を盛り上げました。

男子62kg級の木村勇喜選手、女子48kg級の鈴木梨羅選手もメダルを獲得するなど活躍し、5月の全日本選手権に向けて弾みをつけました。

第64回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会

第30回全日本女子学生ウエイトリフティング個人選手権大会

日時：4月27日～4月29日

場所：羽曳野市 はびきのコロセラム

| 階級 | 選手名 | 学部 学年 | BEST | | | | TOTAL | |
|--------|-------|----------|-----------|----|------------|----|------------|----|
| | | | S | 順位 | J | 順位 | 記録 | 順位 |
| M62kg級 | 木村勇喜 | スポ科2 | 110 | 3 | 137 | 2 | 247 | 2 |
| M69kg級 | 知念勇樹 | スポ科2 | 113 | 2 | 150 | 1 | 263 | 1 |
| | 生頼啓暉 | スポ科1 | 104 | 8 | 136 | 6 | 240 | 8 |
| M77kg級 | 田中裕也 | スポ科3 | 116 | 8 | 145 | 9 | 261 | 8 |
| M94kg級 | 岡村幸尚 | 社学1 | 120 | 9 | 152 | 10 | 272 | 11 |
| W48kg級 | 鈴木梨羅 | スポ科2 | 68 | 2 | 95 | 2 | 163 | 2 |
| W53kg級 | 安嶋千晶 | スポ科4 | 75 | 1 | 91 | 2 | 166 | 1 |
| W58kg級 | 本澤瑞紀 | 社学2 | 68 | 7 | 83 | 8 | 151 | 8 |
| W69kg級 | 戸田妃乃子 | スポ科2 | 86 | 1 | 108 | 1 | 194 | 1 |
| W75kg級 | 柏木麻希 | スポ科4 | 94 大会新 | 1 | 114 大会新 | 1 | 208 大会新 | 1 |



M69kg級1位 知念勇樹選手



W53kg級1位 安嶋千晶選手



W75kg級1位 柏木麻希選手

◆年会費納入のお願い

今年度分の年会費(OB会費)につきまして、お早めに下記口座へお振込みくださいますようお願い申し上げます。

振込額：卒業4年目以降の方 = 12,000円 / 卒業3年目までの方 = 10,000円

| 金融機関名 | 支店名 | 科目 | 口座番号 | 受取人名 |
|-------|---------|----|---------|-------------------|
| みずほ銀行 | 新宿新都心支店 | 普通 | 8220922 | トウモンウエイトリフティングクラブ |

※自動引き落とし(集金代行)をご利用の皆さまは、7月27日にご指定の口座から引き落としをさせていただきます。

全日本選手権大会結果

5月25日～27日、石川県金沢市で全日本選手権大会が開催され、早稲田勢は計18名（部員10名、OB・OG 8名）が出場しました。

女子は63kg級で松本潮霞選手(H26卒)が2年ぶりの優勝を果たしました。また、69kg級で吉野千枝里選手(H25卒)が2位、75kg級で柏木麻希選手が3位となりメダルを獲得したほか、鈴木梨羅選手が48kg級で4位、安嶋千晶選手が53kg級で4位と健闘しました。男子はメダル獲得はなりませんでした。知念勇斗選手が56kg級で4位、安達貴弘選手(H25卒)が77kg級で4位に入るなど健闘しました。

第78回全日本ウエイトリフティング選手権大会

第32回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会

日時: 5月25日～5月27日 場所: 金沢市 いしかわ総合スポーツセンター

| 階級 | 選手名 | 学部 学年 | BEST | | | | TOTAL | |
|--------|-------|------------------------|------|----|-----|----|-------|----|
| | | | S | 順位 | J | 順位 | 記録 | 順位 |
| M56kg級 | 知念勇斗 | スポ科4 | 101 | 6 | 132 | 3 | 233 | 4 |
| M69kg級 | 生頼永人 | 早稲田大学(H.30卒) | 125 | 5 | 0 | - | - | - |
| | 知念勇樹 | スポ科2 | 0 | - | 145 | 7 | - | - |
| M77kg級 | 武井誠一郎 | 山梨県ウエイトリフティング協会(H.24卒) | 130 | 9 | 160 | 8 | 290 | 8 |
| | 安達貴弘 | 若狭東高校教員(H.25卒) | 140 | 4 | 165 | 5 | 305 | 4 |
| M94kg級 | 菅野真央 | トレミール(H.28卒) | 137 | 7 | 150 | 10 | 287 | 8 |
| W48kg級 | 鈴木梨羅 | スポ科2 | 66 | 6 | 96 | 3 | 162 | 4 |
| W53kg級 | 安嶋千晶 | スポ科4 | 76 | 4 | 93 | 5 | 169 | 4 |
| W58kg級 | 内門沙綾 | 茨城県競技力向上対策本部(H.30卒) | 72 | 7 | 100 | 5 | 172 | 7 |
| W63kg級 | 松本潮霞 | ALSOK(H.26卒) | 94 | 1 | 112 | 2 | 206 | 1 |
| | 西村深聡 | スポ科1 | 72 | 9 | 99 | 10 | 171 | 9 |
| W69kg級 | 吉野千枝里 | 警視庁(H.25卒) | 89 | 4 | 115 | 1 | 204 | 2 |
| | 見附絵莉 | 大阪府警(H.27卒) | 96 | 1 | 0 | - | - | - |
| W69kg級 | 戸田妃乃子 | スポ科2 | 86 | 5 | 108 | 4 | 194 | 5 |
| W75kg級 | 柏木麻希 | スポ科4 | 91 | 2 | 116 | 3 | 207 | 3 |
| W90kg級 | 田中季恵 | スポ科4 | 0 | - | 100 | 4 | - | - |
| | 佐熊汐梨 | 社会学1 | 71 | 7 | 90 | 8 | 161 | 7 |



W63kg級1位 松本潮霞選手



W69kg級2位吉野千枝里選手

予餞会・女子インカレ優勝祝勝会

3月4日、総会に引き続き予餞会と女子インカレ優勝祝勝会が開催されました。

卒部生は4名で、それぞれ頑張った4年間を振り返りながら部に対する思いや今後に向けた決意を語ってくれました。4年間本当にご苦労さまでした。

予餞会に先立って行われた女子インカレ優勝祝勝会では、動画で試合を振り返りながら平成18年度以来となる団体戦優勝の喜びを分かち合いました。また、当会から女子部員全員に記念のメダルを贈呈しました。

卒部生氏名（学部）

森川芳樹（スポーツ科学部） 千葉健介（社会科学部） 生頼永人（スポーツ科学部）
内門沙綾（スポーツ科学部）



卒部生の4名



女子インカレ優勝記念のメダル

4年生との意見交換会を開催

4月7日、下落合・かがやきにて4年生との意見交換会を開催しました。

学生は神田主将はじめ9名、OBは吉岡監督・志田会長はじめ7名が参加し、部の運営や支援のあり方などについて意見交換を行いました。

短い時間ではありましたが、主将からはメンバー個々のリーダーシップを引き出してチームをまとめ上げていこうという明確な運営方針が語られ、また競技や卒業後の進路についてなどそれぞれ言葉を交わすうちに4年生一人ひとりの成長を確認することができました。

大いに期待したいと思います。



平成29年度総会報告 1/2

3月4日、早稲田大学染谷記念国際会館において、平成29年度総会が開催されました。短い時間ではありましたが、各議案について、本会の目的を達成すべく活発な議論が交わされました。遅くなりましたが、以下に要旨をご報告いたします。ご出席いただいた先輩の皆さま、ありがとうございました。

【出席者】※敬称略

中田正剛(S43) 村岡芳彦(S44) 上野稔(S45) 岡田正三(S45) 坂本知之(S45) 谷川吉史(S45) 鶴飼信一(S46)
高橋明(S46) 水谷吉朗(S48) 岡田文男(S49) 野口清志(S49) 伊藤茂(S51) 志田典明(S51) 数野裕之(S59)
野中弘一(H01) 吉岡史生(H13) 蔵山潤哉(H21) 武井誠一郎(H24) 堀井勇也(H27)

【議事要旨】 ※会計資料は稲門ウエイトリフティングクラブWebサイトをご覧ください。

【議題1】 監督・コーチの推薦並びに次期指導体制に関する件

鶴飼信一・前部長(S46)の部長退任意向及び岡田純一・前監督(H02)の次期部長(兼総監督)就任予定を受け、役員会より新監督として吉岡史生・前コーチ(H13)及び新コーチとして武井誠一郎先輩(H24)を推薦、併せて次期指導体制について説明し、満場一致で承認されました。

現在の早稲田大学ウエイトリフティング部指導体制は以下のとおりです。

- (1) 部長 兼 総監督 岡田純一(H02/**新任**)
- (2) 監督 吉岡史生(H13/**新任**)
- (3) ヘッドトレーナー 平山邦明(H18)
- (4) コーチ 富田(城内)史子(H19) 武井誠一郎(H24/**新任**) 松本潮霞(H26) 堀井勇也(H27)

なお、多年にわたり部の指導をお願いしていた幾島稔・前コーチ(H03)が今回の体制変更を機に退任されました。部の育成発展への協力に対し、この場を借りて心より感謝申し上げます。

【議題2】 平成29年度活動報告及び収支決算報告/監査報告に関する件

役員より、平成29年度の活動及び収支決算、並びに監査結果について報告し、満場一致で承認されました。

- *「会費」は、計165万2千円の納入がありました。先輩皆さまのご理解ご協力に感謝いたします。
- *部遠征等助成金として山内英雄先輩(S42)から100万円、荒木宏久先輩(S55)から10万円を賜りました。
- *谷川吉史先輩(S45)・黒江雄治先輩(H22)はじめ多くの皆さまから多大なるご寄付を賜りました。
- *「卒部生記念品代/特別積立金(60周年記念事業等)借入金返済」は、残り6万円を「特別積立金(75周年記念事業等)」へ入金し、平成25年度に借り入れた14万円について全額完済しました。
- *「インカレ・早慶戦観戦会員補助」は、試合サポート・来場観戦の会員に対し弁当と飲み物を提供させていただきました。
- *「地域会員懇親会援助費」は、稲門体育会会員総会(5月早稲田)出席会員並びにOB懇親会(5月熱海)に対し補助を支出しました。国体参加者懇親会は機会がなかったことから支出を控えました。
- *「通信費・消耗品費」は、会費未納の方へのクラブニュース(印刷物)郵送を年1回とさせていただき節約を図っています。また、電子メール配信の参加者は144名に達しました。経費節減へのご協力、誠にありがとうございます。
- *「会議費」は、4月に4年生との対話会を開催しました。
- *「特別積立金(部遠征補助等)」は予算どおり100万円を積み立て、ユニバーシアード大会(台湾)・日韓フレンドシップ大会(土別)派遣選手に対する遠征補助及び世界ジュニア選手権(東京)代表選手への激励金、コーチの国内遠征帯同補助を支出しました。
- *「特別積立金(75周年記念事業等)」は予算どおり20万円を積み立てました。

【議題3】 女子インカレ優勝祝勝会(兼予餞会)収支予算に関する件

団体優勝記念品代を含む支出予算額23万円に対し会費等収入見込額14万円であることから、実施後の収支が赤字となった場合に「特別積立金(部遠征補助等)」から不足分を補助することについて説明し、承認されました。

【議題4】 早稲田アリーナ募金の対応状況について(報告)

当会として寄付金額300万円を目標に取り組んできた早稲田アリーナ募金は、2月末現在で寄付金額累計がちょうど300万円となりました。ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

【議題5】 稲門体育会活動状況並びに次年度日程について(報告)

稲門体育会の主要なイベントと国内大会について開催日程(予定)の共有がありました。

- * 稲門体育会会員総会・懇親会(5/11早稲田) * 稲門体育会ゴルフコンペ(10/10コース未定)
- * 全日本選手権大会(5/25-27金沢) * 全日本大学対抗選手権大会 I 部(12/14-16上尾)

(次ページへ)

平成29年度総会報告 2/2

[議題6] 平成30年度活動計画及び収支予算に関する件

役員より、平成30年度の活動計画及び収支予算案について説明し、原案どおり承認されました。

- *「会費」は、168万円を目標に、1人でも多く納入していただけるよう協力の呼びかけを継続して行います。
- *「部への補助」、「新人勧誘費」、「学生MVP賞品代」は、これまでと同額の援助を行います。
- *卒業生記念品は従来の木工バーベルから写真パネルに切り替えて予餞会で贈呈します。
- *インカレ・早慶定期戦への参加促進のため、今年度も試合サポート・観戦会員に対し弁当・飲料の提供を行います。
- *稲門体育会会員総会(5月早稲田)出席者、国体開催地(10月福井)懇親会参加者に対し会費の補助を行います。
- *「特別積立金(75周年記念事業等)」は20万円を積み立てる予定です。
- *「特別積立金(部遠征補助等)」は、3万円を積み立てた上で国際競技会代表選手遠征補助、コーチに対する国内遠征帯同補助、新記録樹立褒賞等の運用に充てる予定です。また、前記(議題3)の女子インカレ優勝祝勝会補助として9万円を計上しました。

[議題7] 役員を選任に関する件

役員候補者全員の新任及び再任について、満場一致で承認されました。現在の役員は以下のとおりです。

- (1) 会長 志田典明(S51/再任)
- (2) 副会長 山内英雄(S42/再任) 中田正剛(S43/再任) 谷川吉史(S45/再任) 数野裕之(S59/再任)
- (3) 幹事長 野中弘一(H01/再任) (4) 会計幹事 菅野真央(H28/新任)
- (5) 監事 高橋明(S46/再任) 正木隆至(S48/再任)

なお、6年間会計幹事を担当していただいた蔵山潤哉先輩(H21)がご都合により再任を辞退されました。在任中は多忙ななか当会運営にご尽力いただきました。この場を借りて心より感謝申し上げます。

寄付者ご芳名

部の育成発展並びに当会の運営に対し多大なるご支援を賜りました。心から感謝申し上げます。

なお、皆さまのご協力により「早稲田アリーナ募金」につきましては当会としての目標額「300万円」を達成することができました。誠にありがとうございました。

■ 部遠征等助成金

100,000円 荒木宏久(S55)

◆ 指定寄付(ウエイトリフティング部指定)

100,000円 藤原哲郎様(校友)

10,000円 内村正月(S44) 50,000円 谷川吉史(S45) 110,000円 岡田純一(H02)

◆ 早稲田アリーナ募金 *目標額達成！

平成29年度当会実績 1,835,000円 **当会寄付金額累計 3,105,000円**

武田文男(S33) 川辺三樹(S40) 田口薫(S42) 山内英雄(S42) 藤田和雄(S44) 森武彦(S45)
岡田文男(S49) 野口清志(S49) 鷲田徹夫(S49) 伊藤茂(S51) 荒木宏久(S55) 相場浩徳(S58)

夏合宿のお知らせ

日程： 8月29日(水)～9月4日(火)

場所： 清水ナショナルトレーニングセンター

静岡県静岡市清水区山切1487-1 (JR東海道線清水駅からタクシー12分)

皆さまのご参加をお待ちしております。

なお、ご参加いただける場合はお早めに宿泊日と食事(朝・昼・夕)の要否についてご連絡ください。

連絡先： ウエイトリフティング部 主務・大原魁斗 電話/FAX 03-3202-1090